

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた円滑な港湾物流の確保のための連絡協議会 議事概要

日時：令和元年12月20日（金）16:00～17:00

場所：経済産業省別館238 各省庁共用会議室

<意見交換された内容>

○荷主や業界団体等からの意見の共有

- ・大会時の物流対策について様々な検討を行っていく上で、荷主が輸送計画を変更する場合、海外との調整も必要となり、準備に時間が掛かることなどから、大会時の東京港における取組に関する全体像を早期に示すことが必要。
- ・円滑な港湾物流の確保に向け、荷主等のニーズを踏まえながら、関係者と調整の上、大会時に実施するゲートオープン時間の拡大やストックヤードの設置などの物流車両の交通量の抑制・分散化を進め、荷主等が利用しやすい東京港を実現させていくことが重要。

○コンテナターミナルのゲートオープン時間拡大とストックヤードの活用について

- ・東京都が実施する年末年始のトライアルの検証結果を踏まえ、大会時の取組内容を検討することが重要。
- ・大会時における荷主等による配送計画変更等に要する時間も考慮し、ゲートオープン時間拡大及びストックヤードの運用等に関する大会時の具体的な取組内容を関係者との協議を踏まえて、できる限り早期に公表することが必要。

○長期蔵置貨物について

- ・今後は、長期蔵置貨物の解消状況を分析・検証するとともに、個別の荷主や業界団体等に対し、きめ細かく働きかけを行うなど、粘り強く取組を継続することが重要。
- ・取組の実効性を更に高めるため、税関とも連携した取組を実施していく。

○今後の対応について

- ・今後も引き続き、国と東京都で情報交換を密に行いながら、荷主や港湾物流事業者等に課題解決に向けた情報提供や協力要請を行うなど、大会に向け一層連携を強化していく。
- ・次回開催を今年度内とし、大会時の東京港の取組の全体像を踏まえ、本協議会の取りまとめを行う。具体的日程は今後調整する。

<その他の事項>

- ・国土交通省が開発したCONPASの実証事業の検証結果について、都に情報提供があった。
- ・現在もコンテナターミナル周辺において、交通混雑やトラック運転者の長時間待機が発生していることを踏まえ、大会後も見据え課題を解決するため、取組をしっかりと進めていくことが重要。

以上